



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



私のふるさと道志村 ～15歳の提言～

S D G s
(Sustainable Doshi Goals)
持続発展する道志村を考えよう

今年度も「15歳の提言」の季節がやってきました。本校では「総合的な学習の時間」を中心に「ふるさと道志」をテーマに、様々な探究的な学習を行っています。

今回(12月12日)、3年生は、その学習の「まとめ(集大成)」として、それぞれが考える「道志の未来」について、プレゼンテーションを行いました。会場には、村長さんをはじめ、村議会議員の皆さん、教育長さん、教育委員の皆さん、役場の各課の課長の皆さん、学校運営協議会の委員の皆さんにお集まりいただきました。発表後の交流会も、熱心な意見交換の場となりました。



このように、中学生の思いや願いを大切にしていただけ、心豊かな風土のある道志村は、本当に素晴らしいと思います。ありがとうございました。

発表を終えた3年生の皆さんへ！

3年生の皆さん、見事な発表でした。お疲れ様でした。私たちの「ふるさと道志村」を、これからも維持発展させていくため、それぞれがテーマや提言を考え、パワーポイントにまとめました。

当日の発表に至るまで、保護者の皆さんや担当の先生方からの助言を受け、資料収集をしたり説明用の模型を作ったりしました。どのようにすれば、分かりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができるか、試行錯誤をしながら一生懸命考えました。

そして、この学習を通して、気づいたことがありますね。それは、よりよい社会(ふるさと道志村)を創っていくのは、「私たちである」ということです。本校の学校教育目標は『社会に貢献しながら、自立する生徒の育成』です。皆さんは「何とかしたい」という思いに『気づき、考え、実行する』ということなのです。つまり、皆さんも地域住民の一員として、主体的に地域を支える担い手としての自覚(と責任)を持つということです。



今、3年生の皆さんは、中学卒業後の進路について、大きな選択を迫られています。自分の将来の夢や目標の実現のため、必死に努力を続けています。そんな皆さんの夢や目標が実現できる、未来の社会(よりよい社会)をつくること、それはすべての人が願うところです。

先日、私は、第1回道志村子ども・子育て会議(12月3日)に参加しました。この会議では「こども基本法」や「こども大綱」の制定を受け、「こどもまんなか社会」の実現等が話題となりました。

先日、私は、第1回道志村子ども・子育て会議(12月3日)に参加しました。この会議では「こども基本法」や「こども大綱」の制定を受け、「こどもまんなか社会」の実現等が話題となりました。



本校での「15歳の提言」の取組は、10年以上前から実施しており、歴史と伝統があります。よくよく考えると、本村では、学校教育に関わる大人を前にして、中学生が意見を表明できる機会が既にあり、その願いや思いを真摯に受け止め、共に歩んでいこうとしています。これはまさに“こどもまんなか社会”を具現化した、素敵な取組の1つと言えるでしょう。

改めて私たち教職員一同、この思いや願いを胸にして、学校教育の充実を図っていきたいと思います。